

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 新潟県見附市立南中学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒954-0035

新潟県見附市名木野町 714 番地

E-mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~minami/

幼児児童生徒数 男子 104名 女子 103名 合計 207名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

当校は、「環境とエコ」を活動テーマとして、自分と他とのかかわりの中から、自然環境や環境問題、エコ活動について考え、環境の保全や改善に向けて主体的に行動できる資質や能力を育成することを目標としている。

具体的には、環境に対する知識や意識、資源の再利用を柱に、①フラワーロードづくり、②「節水」「節電」などの環境学習、③リサイクル活動を行った。

#### 1 フラワーロードづくり

中学生と地域の連携を深め、よりよい環境をつくるために、フラワーロードづくりを行いました。地域の方々に協力していただき、花を植えるだけでなく、プランターを入れるためのスタンドを最初から作りました。花が咲くフラワーロードを生徒や地域の方々に気持ち良く通ってもらいました。地域の環境づくりに貢献しました。

#### 2 「節水」「節電」などの環境学習

総合的な学習の時間で環境について学び、節電や節水について学んだことを、日常生活に生かしました。また、普段の学校生活でも意識できるように、生徒会広報委員会がポスターを作成して掲示し、全校の意識の向上を図りました。

### 3 リサイクル活動

生徒会が中心となり、年間を通してペットボトルキャップを回収したり、ダンボールや古紙など回収を行ったりしました。また、校地に資源回収ボックスを設置し、校区内の全戸を対象として資源回収を日常的に行いました。生徒と地域の方々に資源の再利用に関して、意識を高めることができました。

また、PTA行事で廃油石けんを作り、保護者と生徒が一緒になって環境について学びました。



フラワーロード作成の様子



「節水」「節電」の実験の様子



中庭に資源を集めました。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 リサイクルやエコ活動を行う力 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 昼休み、放課後等の時間 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特に無し
------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・ 2 学年の環境学習は、総合的な学習の時間における授業。
- ・ 資源回収や環境整備などは、生徒会専門委員会の活動。
- ・ 年 2 回の学校評価会議の中で、指導内容・方法の改善と見直しを図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 2 学年：①通学路にフラワーロードを作成する活動
- ②「節水」「節電」の講演と実験
- ③防災教育とグッズの作成
- ・ 生徒会福祉委員：ペットボトルキャップの回収活動
- ・ 生徒会環境美化委員：①全教室にグリーンカーテン作り
- ②古紙、ダンボールなどの資源回収活動
- ③お花いっぱいコンテストへの参加

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

#### 成果

- ・ 市内で行われている「みつけエコスクールチャレンジプロジェクト」では、教育委員会から評価を受けている。審査員から「PTAと地域との連携を強く感じる。」や「様々な活動に取り組み、着実に成果を上げている。」と評価を受けている。

#### 課題

- ・ 学年や専門委員会で取り組んでいるため、全校生徒で取り組む活動が少ない。そのため、今後は全校生徒が取り組める活動を増やしていく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・見附市の「みつけエコスクールチャレンジプロジェクト」を見附市のホームページで紹介した。応募の取組により、追加配当が増額した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

・大学と連携を取り、学校における教育実践の調査に協力している。質問紙調査による報告を行っている。  
・NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムからのアンケート。  
・ユネスコ・アジア文化センターのユネスコスクール活動調査への参加。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

・見附市で行われているエコスクールチャレンジプロジェクトへの参加。  
・見附市内の学校間における交流。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

- ・ 資源回収活動で得たお金で、体育祭のカラーTシャツを購入し、全校生徒が着用することにより、活動への意欲が一層高まった。
- ・ ボランティア活動を進んで行う生徒が増加した。
- ・ 資源回収活動において、地域に呼び掛けて協力を得たことにより、地域との結びつきが強まった。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- ・ 2 学年：①通学路にフラワーロードを作成する活動
- ②「節水」「節電」の講演と実験
- ③防災教育とグッズの作成
- ・ 生徒会福祉委員：ペットボトルキャップの回収活動
- ・ 生徒会環境美化委員：①全教室にグリーンカーテン作り
- ②古紙、ダンボールなどの資源回収活動
- ③お花いっぱいコンテストへの参加
- ④「ハブラシ回収プログラム」のリサイクル活動